

長崎東高校



輝け！場所

1年 渡部 光

土砂を掘るクレーン操縦室に初めてに入った。操縦士さんが大きいクレーンを緊張することなく操り、任された仕事を堂々と全うしている様子をファインダー越しに見た。その姿がとても輝いて見え、この方だけでなくこの現場みんなが輝いていた。



長崎港のすべて

1年 渡部 光

青い海と澄んでいる空、女神大橋、そして浚渫船。この4つによって長崎港が成り立っているといっても過言ではない。撮影まで「浚渫船」を知らなかったが、もっと多くの人に知ってもらいたい。浚渫船は長崎港には決して欠かせない。



撮影中

1年 宮原 瑠生

ドローンを使用して私たちが撮影させていただいている方々と私たちにカメラを向けてホバリングしている様子。中望遠とトリミングによって撮影者とドローン、そして浚渫船一部を切り取りぎゅっと圧縮した写真。



司！

2年 埴生 彩沙

初めて訪れた浚渫船の中は驚きの連続で、ボタンやモニター、ランプの多さには特に驚きました。「船を司る」という役割を担ったボタンたちの頼もしさを伝えたいと思い構図を工夫した。



指差し確認

2年 村山 呉太郎

1人が指をさし、もう1人が確認する仕事姿。一方で、休憩時間は現場の皆さんは仲がよくて柔らかい雰囲気が微笑ましく、時間のメリハリがあるのだと感じた。港に船がある当然の姿はこの方たちによって保たれている。

諫早高校



猛暑の作業

1年 荒木 楓雅

暑さに負けずに作業する姿がかっこいいなと思い、その姿にシャッターを切った。汗をぬぐいながら一所懸命働いている様子、暑さに耐えている表情と頑張っている姿を伝えたい。



相棒を飛ばす

2年 山口 俊平

女性技術者がドローンで測量する様子。ドローンは土木に欠かせないもので、それを自在に操る彼女はとてもかっこよかった。人とドローン、互いが欠かせない存在であることから相棒のようと思った。ドローンは小さくも頼もしかった。



IT化の時代

2年 岡本 康生

バックホウに3Dで見ることが出来る設備（マシンガイド）が搭載されていた。ITの活用で効率的に作業ができることに驚きと時代の変化を感じた。それが新たな基本となり、新しい土木現場になっていくのだと実感した。

大村高校



初めて知った土木

1年 古川 万結

作業員の方が道路の土台（発泡スチロール）を測っている様子。みんなが通る道路をつくるという大きな工事だからこそ、一人一人の正確な作業が大切だということを知り、土木という職業の凄さを感じた。



夏の作業日

2年 井上 哩葉

朝礼の準備体操の様子。青々とした緑と作業員の方がマッチしていて思わずシャッターを切った。「今日も頑張るぞ」という意気込みが伝わってきて、朝礼後の会議では作業内容を確認し、一斉に持ち場へ向かって行ったのが印象に残った。



Safety First!!

2年 出田 奈未

土木で働く方々は、いつも安全第一で働いている。ヘルメットの「SafetyFirst」という言葉には、自分達の安全第一という気持ちと、そこを使う人々の安全を一番に考えるという気持ちが込められていると感じた。